

第 32 回光学シンポジウム講演募集

期 日： 2007 年 7 月 5 日(木), 6 日(金)

場 所： 東京大学生産技術研究所コンベンションホール
(東京都目黒区駒場 4-6-1)

主 催： 日本光学会

講演方法および時間： 基本的に口頭講演のみ，発表 20 分
(質疑応答 5 分含む)．プログラム編成の都合によりポ
スターセッションへ変更をお願いする場合があります．

応募資格： 日本光学会 (入会予定含む)，応用物理学会，
SPIE, OSK, 協賛学協会会員

応募方法： 以下の内容を電子メールにてお送りください．
題目，氏名 (登壇者には○を付ける)，所属機関名，
英文題目，英文氏名，所属機関英文名，アブストラク
ト (200 字以内)，連絡先 (郵便番号，住所，氏名，
E-mail, 電話，Fax)．

応募締切： 2007 年 3 月 9 日(金) 必着

予稿締切： 2007 年 4 月 27 日(金) 必着

応募・問合せ先： (株)リコー 画像エンジン開発本部モジ
ュール開発センター光学 Md 開発室 板橋彰久

〒 243-0460 海老名市下今泉 810

電話 046-292-5792 Fax 046-231-9047

E-mail: optsympo32@kind.ocn.ne.jp

詳細につきましては，「光学」第 36 巻第 1 号の綴り込み案
内，または，日本光学会ホームページ ([http://annex.jsap.
or.jp/OSJ/](http://annex.jsap.or.jp/OSJ/)) をご覧ください．

第 10 回光設計賞募集

日本光学会光設計研究グループでは，光設計分野におけ
る技術交流・研究活性化を目的として，「光設計賞」を実
施しています．光に関わる各種デバイスやシステムの研
究・開発に携わる日本光学会の皆様への積極的な応募をお待
ちしています．募集要項の詳細および応募用紙につしまし
ては，下記に記載のホームページ，あるいは問合せ先まで
ご請求ください．

技術領域：「光設計」に関連する研究，技術，発明など全
般

応募資格： 筆頭著者が日本光学会会員であること．応募
と同時に入会可能．なお，受賞者 (筆頭著者) は，光
設計研究グループへ入会していただきます．(受賞入
会の場合，入会年度の会費免除)

応募の制約： 公開されてから 5 年以内 (2001 年 11 月以
降に公開，あるいは未公開)

募集期間： 2006 年 11 月 10 日～2007 年 5 月 31 日 (必着)

表彰時期： 2007 年秋

賞 金： 光設計大賞 (1 件) 7 万円，光設計優秀賞 (若干
数) 3 万円

応募の宛先・問合せ先： 三菱電機(株)先端技術総合研究
所レーザ・電気加工技術部 河野裕之

〒 661-8661 尼崎市塚口本町 8-1-1

電話 06-6497-7107 Fax: 06-6497-7288

E-mail: odp10@opticsdesign.gr.jp

<http://www.opticsdesign.gr.jp/prize/odp.html>

第 103 回微小光学研究会「DOE/回折の微小光学」

日 時： 2007 年 3 月 8 日(木) 10:00～17:00

場 所： 東京大学生産技術研究所コンベンションホール
(東京都目黒区駒場 4-6-1)

交 通： 京王井の頭線駒場東大前駅下車，徒歩 10 分

主 催： 日本光学会微小光学研究グループ

講 演 (順不同)：

- 1) 「回折格子のきもーデバイス応用に向けてー」横森
清 (リコー)
- 2) 「回折格子を積み重ねることで何ができる？」市川裕
之 (愛媛大)
- 3) 「遺伝的アルゴリズムによるサブ波長回折光学素子の
設計」石川顕一 (東京大)
- 4) 「UV インプリント用感光性有機無機ナノコンポジ
ット材料」股木宏至 (KRI)
- 5) 「熱リソグラフィによる大面積高速作製技術」栗原
一真 (産総研)
- 6) 「ナノインプリント技術を用いた広帯域波長板の作
製」増田 修 (コニカミノルタテクノロジーセンター)
- 7) 「ホログラフィックフェムト秒レーザー加工」早崎芳
夫 (徳島大)
- 8) 「すばる望遠鏡用高分散素子 VPH グリズム」小館香
椎子 (日本女子大)
- 9) 「2 層 2×BD, DVD, CD に対応した記録再生ピック
アップ」田中俊靖 (松下電器)
- 10) 「シリコン回折格子と MEMS 光フィルタ」羽根一博
(東北大)

参加費： 一般 4,000 円，学生 1,000 円 (資料代含む，当日

ご持参ください)

参加申込： 不要 (直接会場へお越しください)

問合せ先： NEC メディア情報研究所 片山龍一

電話 044-431-7581 Fax: 044-431-7592

E-mail: r-katayama@bl.jp.nec.com

プログラムは微小光学研究グループのホームページ (<http://www.comemoc.com/>) でもご覧になれます。

第 39 回光波センシング技術研究会講演会論文募集

本研究会は 1985 年の発足以来、光波センシングの基礎、応用から実用化にいたる最新技術の紹介と将来展望をテーマに活動を行ってきました。第 39 回研究会では「光波センシングとイメージング技術」をテーマに取り上げます。

今回の開催地の浜松は、「日本のテレビの父」高柳健次郎の出身地であり、光関連技術、特にイメージング技術の研究が盛んな地です。イメージング分野では、画像検出デバイスや光制御デバイスが発展し、応用範囲も広がってきています。また、テラヘルツや X 線イメージングなども発展しています。

そこで今回の研究会では、イメージング技術を支えるデバイスの進展、光波イメージング技術の応用、光センシング周辺のイメージング技術の進展など最近のイメージング技術に関する招待講演を、チュートリアル講演も交えて企画します。また、一般講演論文はイメージング技術の話題のみならず、光波センシングの広い分野から募集いたしますので、ぜひご投稿くださるようご案内申し上げます。多くの講演者を得て活発な議論を行いたいと思います。

趣旨と内容： 光波センシングとイメージング技術

主 催： 応用物理学会・光波センシング技術研究会

協 賛： 電子情報通信学会、電気学会、情報処理学会、映像情報メディア学会、日本光学会 (応用物理学会)、計測自動制御学会・センシングフォトニクス部会、日本オプトメカトロニクス協会、精密工学会、IEEE OES (Ocean Engineering Society) Japan Chapter

後 援： 浜松市商工会議所

応募締切： 2007 年 3 月 19 日(月) 必着

開催日： 2007 年 6 月 12 日(火)～13 日(水)

場 所： アクトシティ浜松研修交流センター (〒430-7790 浜松市板屋町 111-1)

募集論文の性格： 未発表のものに限ります。ただし、口頭発表や研究速報等は差し支えありません。

講演形式・時間： 一般発表講演形式で質疑応答を含めて 25 分の予定。

応募方法： アブストラクトを Fax または E-mail で下記

の事務局までお送りください。アブストラクトは A4 判 1 頁以内、書式は自由です。演題、発表者、共著者、連絡先 (電話, Fax, E-mail) を明記願います。

応募締切： 2007 年 3 月 19 日(月) 必着

論文審査： アブストラクトの内容を本研究会のプログラム委員会で審査します。

論文原稿締切： 2007 年 5 月 18 日(金) 必着。A4 判 6～8 頁 (PDF または WORD 文書) を E-mail でお送りください。

参加費用： 11,000 円 (参加費 5,000 円, 論文集代 6,000 円), ただし予約割引料金です。

研究会事務局： 光波センシング技術研究会事務局

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南 3-11-19

矢嶋弘義

電話/Fax 03-3391-8346 E-mail: lstsec@mbp.nifty.com

<http://annex.jsap.or.jp/kohasensing/>

「デジタル画像応用技術—デジタル画像取扱いの応用コース—」技術講座

デジタル画像技術の応用編として、民生用デジタル画像システムを中心に解説していきます。デジタル画像の入力機器としてのデジタルカメラと、出力機器としてのプリンターに重点をおいて比較的多くの時間をさき、画像処理の手段としてのパソコンの処理ソフト、さらには写真印刷との関連やカラーマネジメントについても言及して、トータルとしての画像システムへの理解を深めることを目的としています。

日 時： 2007 年 4 月 19 日(木)～20 日(金) 10:00～17:00

場 所： 機械振興会館別館 4 階 (東京都港区芝公園 3-5-22)

講 師： 豊田堅二氏 (武蔵野美術大学映像学科講師, 日本大学写真学科講師)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会ほか

参加費： 1 名につき、一般 68,250 円, 正会員 45,150 円, 賛助会員 54,600 円, 協賛 60,900 円, デジタル・イメージング技術部会登録企業 37,800 円 (テキスト代・消費税を含む)

定 員： 30 名

申込期限： 2007 年 4 月 12 日(木)

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax: 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

3rd Asian and Pacific Rim Symposium on Biophotonics APBP2007

本国際会議は、アジア地区での「生体・医用光学」の国際会議としては2002年札幌（日本）にて初めて開催されて以来、2004年の台北（台湾）に続いて第3回目の会議です。現在、「生体・医用光学」の研究活動と国際会議は、北米、ユーロ、そしてアジアにて独立に展開されており、本国際会議はアジア地区の中心的な会議のひとつに成長しようとしています。具体的には、多光子顕微鏡結像、拡散光結像、生体医用分光法、光コヒーレントトモグラフィ・トポグラフィ、光ツイザー、光音響結像法、細胞生物学における光技術、生体・医療用の新しい光学機器ならびにデバイスなどの研究課題について、世界的権威を囲んで、日本、アジア、オセアニアなど環太平洋地区の研究者の研究発表と討論を通して、研究交流の促進を図るものです。

期 日： 2007年7月9日(月)～11日(水)

場 所： オーストラリア連邦・ケアンズ・シャングリラホテル

主 催： バイオフォニクスに関するアジア・環太平洋シンポジウム組織委員会

共 催： Optical Society of Japan (OSJ), International Commission for Optics (ICO), Optical Society of America (OSA), Australian Optical Society (AOS), Australian Institute of Physics (AIP)

アブストラクト締切： 2007年3月2日(金)

問合せ先： 東京農工大学 岩井俊昭

電話 042-388-7147 Fax: 042-388-7925

E-mail: tiwai@cc.tuat.ac.jp または

Ms. Katie Cage (Swinburne University of Technology)

電話 61-3-9214-5273 Fax: 61-3-9214-5435

E-mail: apbp@swin.edu.au <http://www.apbp2007.com>

スプリング・サイエンスキャンプ 2007 参加者募集

先進的な研究施設や実験装置等を有する日本各地の大学・公的研究機関・民間企業（25会場）で春休みの3日

間高校生等を受け入れ、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造技術、(宇宙・海洋等の)フロンティア、地球科学、社会基盤等の分野において、第一線で活躍する研究者・技術者等から直接講義や実習指導が受けられる科学技術体験合宿プログラムです。募集要項はWebサイトから入手できます。

期 日： 2007年3月21日(水)～29日(木)の春休み期間中の2泊3日

参加費： 10,000円

応募締切： 2月13日(火) 必着

主 催： (独)科学技術振興機構

事務局： サイエンスキャンプ事務局 ((財)日本科学技術振興財団内)

電話 03-3212-2454 Fax: 03-3212-0014

<http://ppd.jsf.or.jp/camp/>

新入会員

個人

会 員 番 号	氏 名	所 属
A 6103621	松本 晋明	関西大学
6103622	松本 晋悟	関西大学
6103623	満岡 直城	北見工業大学
B 0061717	境澤 大亮	東京都立大学
0070497	尾崎 豊	(株)ヒューネット・ディスプレイテクノロジー
0070528	中村 淳一	日本山村硝子(株)
0070608	田中 拓男	諏訪東京理科大学

特別会員

会 員 番 号	団 体 名
7100347	ブックス書泉
7100348	物質・材料研究機構

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー
山本雄一郎

電話 044-549-2329 Fax 044-520-2057 E-mail: yuichiro@mssl.rdc.toshiba.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成18年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	伊東 一良* (大阪大)	笹木 敬司* (北海道大)
副幹事長：	立野 公男* (日立)	
前幹事長：	黒田 和男 (東京大)	
庶務幹事：	吉田 文昭* (コニカミノルタオプト)	岡本 隆之* (理研)
	田中 哲* (防衛大)	豊田 晴義* (浜松ホトニクス)
	石橋 爾子* (ネオアーク)	鬼頭 勤* (NTT)
	生駒 晋也* (トプコン)	山本雄一郎* (東芝)
	麻生 修* (古河電工)	
『光学』編集幹事：	伊藤 雅英* (筑波大)	小野寺理文 (能開大)
『OR』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	石井 行弘* (東京理科大)
国際協力幹事：	小西 毅 (大阪大)	各務 学 (豊田中央研)
産学協力幹事：	藪本 浩利 (旭硝子)	藤井 秀雄 (ペンタックス)
将来問題担当幹事：	三宅 隆浩 (シャープ)	清水 賀代 (日本女子大)
電子化担当幹事：	的場 修 (神戸大)	伊藤 達男 (松下電器)
事業・企画担当幹事：	氏家 知子 (ニコン)	矢口 博久 (千葉大)
	佐藤 康郊 (富士ゼロックス)	本多 徳行 (キヤノン)
	板橋 彰久 (リコー)	近江 雅人 (大阪大)
	武山 哲英 (オリンパス)	高橋 進 (凸版印刷)
	吉川 宣一 (埼玉大)	岡嶋 克典 (横浜国立大)
	岡本 淳 (北海道大)	松浦 祐司 (東北大)
	田代 発造 (富山大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	西澤 典彦 (名古屋大)	和田 健司 (大阪府立大)
	岩田 哲郎 (徳島大)	入江 正浩 (九州大)